

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

## 事業名 **新**スマート林業展開事業費補助金（R3国補正）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

林政部 森林整備課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111（内 3252）

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 4,365千円（現計予算額：0千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	4,365	4,365	0	0	0	0	0	0	0
決定額	4,365	4,365	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

ポストコロナを見据えた住宅等の木材需要の増加への対応や、林産物の輸出拡大等に向け、林業の生産性や安全性の向上といった課題の解決を図るため、林業経営体等によるICTを活用したスマート林業技術等の導入やオペレーターの育成等を支援し、スマート林業技術等の展開を推進する。

### （2）事業内容

森林資源の調査・測量、木材生産や資材運搬の省力化や低コスト化を図るため、作業を受託している法人等が導入するスマート林業技術等の経費と、人材育成に要する経費を支援する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

国 10/10

補助率 1/2 以内、2/3 以内、定額

### (4) 類似事業の有無

林業事業体 ICT 技術等導入支援事業

上記事業では、国補正事業の対象とならない事業者を支援する。

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,365	
合計	4,365	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

第4期森林づくり基本計画（予定）

第2 林業・木材産業の振興

2 DXの推進による林業・木材産業改革

2-2 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

### (2) 国・他県の状況

国補正予算による補助事業であり、各都道府県が活用している。

### (3) 後年度の財政負担

国補正予算による単年度事業であり、後年度の財政負担はない。

### (4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：林業作業を受託している法人、林業種苗法に基づく生産事業者等

2) 妥当性：国要綱に基づくもので、事業主体として妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 スマート林業技術の更なる普及・展開を図るため、導入したスマート林業技術の研修会等への参加者数を、令和6年度までに延べ100人以上を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
スマート林業技術の研修会等への参加者数（延べ人）	0 (R3)	— (H )	— (H )	0 (R2)	100 (R6)	% 0
	(H )	(H )	(H )	(R )	(R )	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	ポストコロナを見据えた木材需要の増加への対応に向け、林業の生産性、安全性の向上が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	成果目標に係るポイントを算定し、ポイントの高い計画から採択する仕組みとし、効率化を図る。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 導入したスマート林業技術を十分に活用できる人材の育成が重要となる。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 単年度補助事業のため、今年度限り。 別事業においてスマート林業技術に関する研修会を開催し、林業事業者等の人材育成を支援していく。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】